

暑い夏を元気に乗り切る！ 熱中症にならないために

札幌市消防局 警防部 救急課

夏空に輝く太陽は眩しく、青空と深緑の対比が最も美しい季節ですが、全国的に「熱中症」が多く発症する季節です。強い日差しと高い気温の中、急に頭が痛む、急に気持ち悪くなる、だるくて歩けないなどの不調を感じたら、「熱中症」の初期症状かもしれません。

今回は、熱中症疑いによる救急搬送人数、搬送症例、防ぐための行動について紹介します。

熱中症を防ぐ 〜夏を元気に楽しむために〜

北海道の夏は、本州と比べ比較的過ごしやすいいといわれていますが、それでも毎年、熱中症により救急搬送される人が多くいます。

平成30年に札幌市で「熱中症疑い」により救急搬送された人数は250人となりました。

これは、救急車により搬送された人数です。で、実際にはもっと多い人が熱中症になっていて可能性があります。暑い季節、熱中症は決して他人事ではありません。

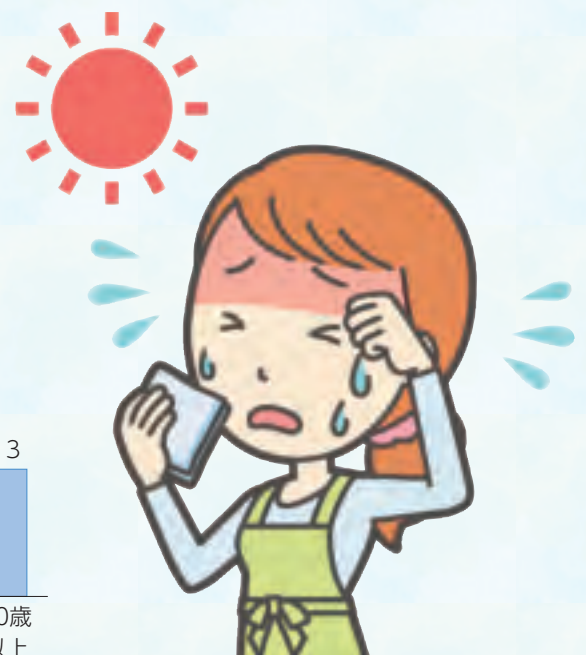
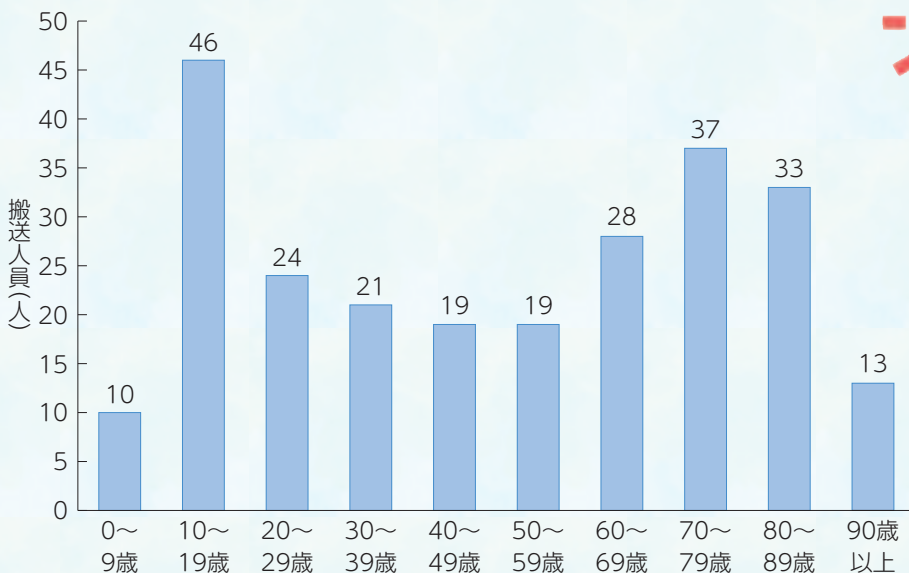
救急搬送された人数を年代別に見てみると、

60歳以上の方は111人、全体の約45%を占めています。

一般的に高齢になるにつれて、暑さや喉の渇きを感じにくくなると言われています。そのため、水分摂取するタイミングが遅くなり、自分で気が付かないうちに熱中症になってしまいます。意識的に日差しと暑さを避け、渴きを感じる前に水分を摂取するよう心掛けてください。

また、搬送された10代の方の大半が運動中に発症しています。運動に夢中になるあまり、休憩をとることを忘れがちになりますが、暑い季節は特にこまめに休憩を挟み、意識的に水分を摂取するよう心掛けてください。

【各年齢層 救急搬送人数(平成30年)】(単位:人)



近年の救急搬送人数

近年の「熱中症疑い」人数と、傷病程度を確認しましょう。

区分	軽症 (外来診療)	中等症 (入院診療)	重症 (長期入院)	死亡	計
平成30年	206	43	1	0	250
平成29年	141	56	1	0	198
平成28年	112	58	1	1	172
平成27年	109	58	5	1	173
平成26年	76	42	1	0	119
平成25年	117	46	2	0	165
平成24年	157	72	2	0	231
平成23年	88	32	1	0	121
平成22年	139	56	4	0	199

毎年多くの人が熱中症により搬送されています。傷病程度は、各年も同様の傾向となり、最も多い「軽症(外来診療)」、次いで「中等症(入院診療)」、「重症(長期入院)」です。熱中症は、症状

が重いと長期の入院になり、重篤な状態に至ることもあり得ます。

熱中症疑いによる搬送症例

① 60歳代の男性

真夏日を記録する暑さの中、畑で農作業をしていました。お昼休憩に戻らないため、奥様が様子を見に行くと、男性が意識を失って倒れていました。

奥様からの119番通報を受け、救急隊が病院へ搬送すると、医師から「熱中症・意識消失」と診断され、回復するまでの数日間、入院しました。男性は、農作業の途中に頭痛がしたことは覚えていたものの、それ以降のことは覚えていませんでした。

② 50歳代の男性

早朝から快晴の日。朝7時台から草刈作業をしていたところ、10時頃にめまいと吐き気を感じました。めまいと吐き気は次第に強くなり、その場に倒れ込み動けなくなりました。

通行人からの119番通報を受け、救急隊が病院へ搬送すると、医師から「熱中症・脱水」と診断され、翌日まで入院しました。男性は、草刈作業中に水分を摂っていませんでした。

③ 70歳代の女性

強い日差しの下、徒歩で買い物に出掛けまし

た。買い物を終え、いつも通りのルートで帰る途中、頭痛とめまいで動けなくなりました。

様子に気付いた隣人から119番通報を受け、救急隊が病院へ搬送すると、医師から「熱中症」と診断されました。意識ははっきりとしていたものの、頭痛とめまいが治まる翌日まで入院しました。女性は、買い物前にお茶を飲んでいましたが、いつも通りの買い物と思ひ込み、強い日差しを浴びながらアスファルトの道路を歩いていました。

防ぐため2つの行動

熱中症を防ぐには、「他人事ではなく、誰にでも起こり得ること」と考え、次の2つの行動をとることが大切です。

○ 日差し・暑さを避ける

○ 適切な水分摂取

熱中症は、暑さなどで体温を調節できなくなり、体内の水分や塩分のバランスが崩れることで発症します。日差し・暑さを避け、適切に水分、塩分を補給していれば防ぐことができます。

また、熱中症は屋外に限らず、建物内でも数多く発症していますので、自宅にいるときもこの2つの行動を心掛け、実践してください。

次のイラストは、熱中症を防ぐ注意点を掲載したチェックリストですので、ご利用ください。

○ **適切な水分摂取**
 ○ **日差し・暑さを避ける**

いつも通りの生活をしていても、日差し・気温・湿度・体調などの条件によって、誰でも熱中症になり得ます。また、症状が重いと長期入院や、重篤な状態に至ることもあります。

前述しましたが、熱中症を防ぐには、「他人事ではなく、誰にでも起る可能性がある」と考え、次の2つの行動を心掛けましょう。

まとめ熱中症を防ぐ!

熱中症を防いで、
この季節を楽しく元気に
過ごしましょう!

【資料:環境省ホームページより】

熱中症の予防はできていますか?

- こまめに水分補給をしている
- エアコン・扇風機を上手に使用している
- シャワーやタオルで体を冷やす
- 部屋の温湿度を測っている
- 暑い時は無理をしない
- 涼しい服装をしている
外出時には日傘、帽子
- 部屋の風通しを良くしている
- 緊急時・困った時の連絡先を確認している
- 涼しい場所・施設を利用する

環境省 熱中症予防情報サイト(スマートフォン・携帯対応)
<http://www.wbgt.env.go.jp/sp>

©環境省

熱中症は予防が大切です

熱中症は気温などの環境条件だけではなく、人間の体調や暑さに対する慣れなどが影響して起こります。気温がそれほど高くなくても、湿度が高い・風が弱い日や、体が暑さに慣れていない時は注意が必要です。

こんな日は熱中症に注意

- 気温が高い
- 湿度が高い
- 風が弱い
- 急に暑くなった

こんな人は特に注意

- 肥満の人
- 持病のある人
- 高齢者・幼児
- 体調の悪い人
- 暑さに慣れていない人

熱中症の予防法

- 日傘・帽子
- 涼しい服装
- 水分をこまめに取る
- 暑いときには無理をしない
- 日陰を利用
- こまめに休憩

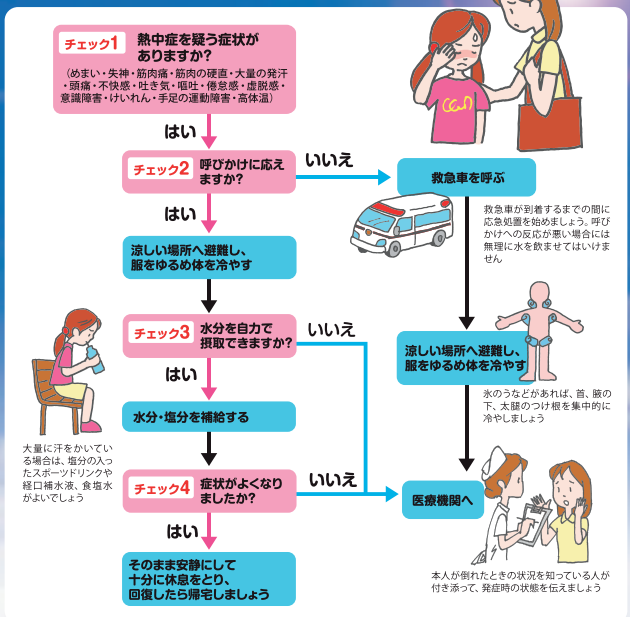
***急に暑くなった日や活動の初日などは特に注意**
 人間の体は暑い環境での運動や作業を始めてから3~4日経たないと、体温調節が上手になってきません。このため、急に暑くなった日や久しぶりに暑い環境で活動した時には、体温調節が上手くいかず、熱中症で倒れる人が多くなっています。

***汗をかいた時には塩分の補給も忘れずに**

熱中症になったときには

熱中症の応急処置

もし、あなたのまわりの人が熱中症になってしまったら……。落ち着いて、状況を確認して対処しましょう。最初の措置が肝心です。



農産物直売所の営業がスタート！ とれたての地元野菜をお手頃な価格で販売

JAさっぽろの組合員が生産した農畜産物を取り扱う直売所が今シーズンの営業を開始しました。店頭には並ぶ商品は、生産者が毎朝持ち込み、新鮮で安全・安心！札幌産を求めて、連日多くの来店客で賑わっています。人気商品は、開店後まもなく売り切れてしまうため午前中の来店がオススメです。季節に応じて並ぶ商品も変わっていくので、お近くにお出かけの際には是非お立ち寄りください。

とれたてっこ南生産者直売所



札幌市南区石山2条9丁目7-88
(JAさっぽろ南支店隣接)
☎(011)592-6141
🕒 11月上旬まで
月～土曜日 9:30～15:00
🚫 日曜日・祝日

5月31日(金)にオープンした「とれたてっこ南」。今年出品する生産者は21軒で、初日は54品目が店頭には並びました。オープン前には、この日を待ちわびた人々で長い列ができ、入場制限をしながらの営業となりました。

とれたてっこ南運営協議会の東正信会長は、「今年は雨が少なく、5月の高温で畑が乾燥して管理が大変だった。例年通り商品が出揃いほっとしている」と話していました。



店舗の外では、初日限定で湯沢園芸の山野草も販売しました。



オープンを待つお客さまへ、金融担当職員がチラシを配って商品のPR。

東経済センター厚別店



札幌市厚別区厚別中央5条3丁目1-6
(JAさっぽろ厚別支店隣接)
☎(011)891-2154
🕒 10月末まで
月～金曜日 9:00～16:00
※種の購入に限り、17:00まで可。
🚫 土曜日・日曜日・祝日

東経済センター厚別店では、6月3日(月)から農産物の直売を開始しました。今年の直売開始は昨年より20日ほど早く、9軒の生産者が出品しています。

初日は、ほうれん草やアスパラ、ゴボウ、チンゲンサイなどの他、加工品も多く販売。人気商品のトマトなど、品数は今後徐々に増えていく予定で、さらに賑わいを見せそうです。





組合員の
活動をご紹介します!

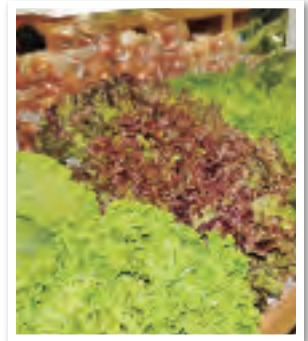
a l a c a

しのろとれたてっこ生産者直売所



札幌市北区篠路3条10丁目1-2
(JAさっぽろ篠路支店敷地内)
☎(011)771-2130
🕒10月下旬まで
月～土曜日 10:00～16:00
📅日曜日・祝日

「しのろとれたてっこ」では、6月17日(月)に今シーズンの営業を開始。収穫したばかりのレタスやブロッコリー、店頭でも一際目を惹く真っ赤なイチゴなどが所狭しに並びました。雨が降るあいにくの天気オープンでしたが、この日を待ちわびた人々が次々と訪れ、カゴいっぱい商品を購入していました。今年は、12軒の生産者が参加しています。



ホクレンショップ「もぎたて市」でも札幌産農産物を販売中!

今年もホクレンショップ店舗内の生産者直売コーナー「もぎたて市」がスタートしており、南区の中ノ沢店、清田区のFood Farm平岡公園通り店では、札幌産の農産物を取り扱っています。11月上旬まで、生産者直送の新鮮な野菜が毎日店頭に並ぶ予定です。

中ノ沢店

札幌市南区中ノ沢2丁目2
🕒10:00～21:45

Food Farm平岡公園通り店

札幌市清田区里塚緑ヶ丘5丁目1-10
🕒10:00～21:00



6月16日(日)

北海道神宮祭(札幌まつり)神輿渡御輿丁奉仕

雨の中の神輿渡御 組合員・職員が1基目を担ぐ

北海道神宮祭の最終日に行なわれた「神輿渡御」に、琴似地区・中央地区の組合員と当JA職員14名、札幌協同振興㈱の社員1名、JA共済連北海道の職員2名が参加しました。

神輿渡御は今年で140回目。神輿4基と山車9基が祭囃子を響かせながら1.3kmに渡って行列を作ります。

当JAの奉仕員は、4基ある神輿のうち1基目を担ぐ大役

を担っており、今年は11.9kmの道のりを一日かけて練り歩きました。時折雨が降る中での渡御となりましたが、沿道に詰め掛けた多くの市民に見守られながら無事に奉仕を務め上げました。



 5月28日(火)
白石統括支店 1統括支店 1協同活動

小学生が植え付け体験 エダマメ・大豆の成長楽しみ

白石統括支店では、東札幌小学校の3年生90名を招き、「鶴の子大豆」と札幌伝統野菜のエダマメ「サッポロミドリ」の植え付け体験を行ないました。

同地区組合員 宮崎勝吉さんの畑で行なうこの取り組みは今年で4回目。児童には大豆とエダマメの苗がそれぞれ一つずつ配られ、組合員の皆さんがお手本を見せるとポットから苗を慎重に外し、丁寧に畑に植え付けていました。

宮口博幸理事は「この畑の横が通学路の人もいると思います。葉が何枚出てきたか、花がいつ咲いたかなどよく観察して成長を見守ってほしい」と児童に呼びかけていました。

夏休み明けにはエダマメを、秋には大豆の収穫体験を行なう予定です。



宮口理事が苗の植え方を説明。
児童は真剣に耳を傾けていました。



 6月8日(土)
南統括支店 1統括支店 1協同活動

「こがねの里」で米作り 親子と新陽高生が田植えを体験

南統括支店では、市内在住の親子10組と札幌新陽高校の生徒12名を招き、田植え体験を行ないました。同地区の組合員 土田栄子さんからお借りした水田「こがねの里」で行なうこの取り組みは6年目。参加親子の募集はチラシ配布やホームページで行ない、新陽高校との連携は、一昨年

から継続しています。
同地区の稲作農家の南里正博さんが「苗を4、5本ずつ取って、線に沿って真っ直ぐ植えましょう」と作業手順を指導し、参加者は全員裸足になって田植え開始。恐る恐る田んぼに入ると土の感触に歓声をあげながら田植えを楽しみました。秋には収穫体験も行なう予定です。



参加した親子の皆さん。



新陽高校の皆さん。



6月6日(木)
新光小学校田植え体験

宮本代表監事が 小学生に米作りの苦勞伝える

米の生産者でもある宮本二三男代表監事が、北区新琴似の新光小学校で田植え指導を行ないました。新光小では、毎年5年生が校内にある田んぼで米作りの授業を行っており、宮本代表監事は10年前から田植えの方法を児童に教えています。

田植えが初めてで田んぼに入るのをためらう児童が多いものの、1度入ってしまえば土の感触を楽しみながらしっかり苗を植えていました。田植え後には、「たくさん収穫するにはどうしたら良いか」など児童から質問があがったほか、「田んぼに入るのが嫌だったけど、やってみたら楽しくてもっとやりたいと思った」という感想もあり、米作りに関心を持った様子でした。



宮本代表監事が最初にお手本を見せました。



5月16日(木)
青色申告会

全議案承認の第17回通常総会 研修会では小規模企業共済を説明

青色申告会(久木博光会長)では、会員・来賓・事務局含め41名が出席し、本店3階大会議室にて第17回通常総会を開催しました。

総会は、熊本基雄議長(篠路支部)の進行により、全ての議事について満場一致で可決承認されました。総会終了後には、独立行政法人 中小企業基盤整備機構の小山田氏を講師に招き、小規模企業共済の概要等について研修会を開催。退職金の給付とその節税効果及び個人版事業承継制度について説明があり、大変有意義な研修となりました。(渡辺特派員)



5月23日(木)
資産管理部会

第21回通常総会を開催 札幌圏の賃貸市場の変化を解説

資産管理部会(乙坂栄順部会長)では、部会員はじめ来賓・役員職員38名が出席し、本店3階大会議室にて第21回通常総会を開催しました。

総会は、平岸支部の古屋昭男支部長が議長を務め、全ての議事について満場一致により可決承認。総会終了後には、ライフサポート札幌株式会社の相馬康志氏より、札幌圏の人口推移や若年層における賃貸対策、外国人観光客を取り込むための民泊の必要性について説明がなされ、部会員は熱心に耳を傾けていました。(田中特派員)





5月8日(水)~10日(金)
女性部厚別支部

茨城の最強パワースポットで開運！！

女性部厚別支部(金子嬉代子支部長)では、部員13名が参加し、茨城方面への親睦旅行を実施しました。

初日は、国営ひたちなか海浜公園で満開のネモフィラ畑を鑑賞し、袋田温泉へ。上質な温泉と食事を楽しみました。2日目は日本三大名瀑のひとつである袋田の滝の他、竜神大吊橋・西山荘・村松山虚空蔵尊を見学し、めんたいパーク大洗でおみやげを購入。夜は、宴会・事務局部屋での2次会と夜遅くまで盛り上がり親睦を深めました。最終日は、人生最強のパワースポットと言われている鹿島神宮を参拝。水郷ろ舟観光を楽しんだ後、稀勢の里関の地元、牛久市へ移動し全高120mの巨大な牛久大仏を見学しました。3日間とも晴天に恵まれ、たくさんの思い出・おみやげを抱え帰路につきました。

(山岡特派員)



5月17日(金)
女性部豊平支部

リトルマーメイドの世界に入り込む

女性部豊平支部(中向道子支部長)では、部員10名が参加し、劇団四季ミュージカル「リトルマーメイド」の見学会を実施しました。

公演では、美しいワイヤーアクションやこだわり抜かれた精巧な表現の数々に驚かされ、絵本の世界に入り込んだ感覚に！笑いあり、感動ありのとても素晴らしい見学会になりました。

(北村特派員)



5月24日(金)
女性部新琴似支部

「お酢」の効果に興味津々

女性部新琴似支部(菅原利恵支部長)では、部員12名が参加し、新琴似支店にて講演会を開催しました。

今回のテーマは「お酢」。A-COOPやジョイライフなどで購入できる「エコープの酢」を製造している大興産業㈱をお招きし、お酢の効果や健康への影響などについて解説していただいた他、試飲も行ないました。皆さん真剣に説明に聞き入っており、改めてお酢に関心を持った様子でした。講演後は昼食会を開き、親睦を深めることができました。

(井上特派員)



組合員の活動をご紹介します!

a l a c a



5月27日(月)~30日(木)
女性部北札幌支部

関東甲信越・南東北の名湯と世界遺産巡る

女性部北札幌支部(土谷眞理子支部長)では、部員16名が参加し関東甲信越・南東北への道外研修旅行を実施しました。

初日は、猛暑の北海道を脱出し、北海道新幹線に乗って仙台へ。仙台から東北新幹線に乗り換えて宇都宮まで向かい、鬼怒川温泉で移動の疲れを癒しました。2日目は、世界遺産 日光東照宮へ。華厳の滝へと続く“いろは坂”では、車酔いを防ぐべく、皆さん対策に余念がありませんでした。その後、中禅寺湖にて昼食を取り、草津温泉へ。有名な湯もみショーも見学しました。3日目は、群馬の世界遺産 富岡製糸場へ。札幌にゆかりのあるガイドさんから、“桑園”という地名が、繭のえさである桑の葉の取れる地域だったことから名付けられたという説明を受け、部員一同驚きました。新潟の月岡温泉に宿泊し、最終日は、福島白虎隊でも有名な鶴ヶ城・会津武家屋敷・会津藩校日新館を見学し、仙台空港より帰礼しました。(水野特派員)



4月27日(土)
しろいし友の会

白老沖で春の宗八釣り大会

しろいし友の会(清水昇会長)では、15名が参加し第69回春の宗八釣り大会を開催しました。

宗八は夜明け頃がよく釣れるということで午前4時半頃出航。30分程度でポイントに到着しました。天候が心配されていましたが、到着の頃には空も明るくなり一安心。皆さんが仕掛けを投入した途端、竿先に当たりが出始め、入れ食い状態となりました。朝10時頃には、クーラーBOXがいっぱいになり、予定時間より早めに帰港しました。大漁で皆さん笑顔が溢れ、大変盛り上がった大会となりました。(西村特派員)

大会結果(敬称略)		
重量賞	優勝	佐久間 剛
	準優勝	越智 秀樹
	第3位	石川 達雄
身長賞	土本 智 40.7cm	



5月23日(木)
JAさっぽろ職員OB会

職員OBが一堂に会す

JAさっぽろ職員OB会(小川高司会長)では、会員・役職員合わせて27名が参加し、ホテルモントレエーデルホフ札幌にて定期総会および親睦観桜会を開催しました。

総会では、小川会長が議長を務め、上程された全ての議案が可決承認。その後、行なわれた観桜会では、近況報告や思い出話に花を咲かせながら、楽しいひと時を過ごしました。(葛西特派員)



不動産プラザ通信

個人の事業用資産の贈与税・相続税の納税猶予・免除(個人版事業承継税制)のあらまし

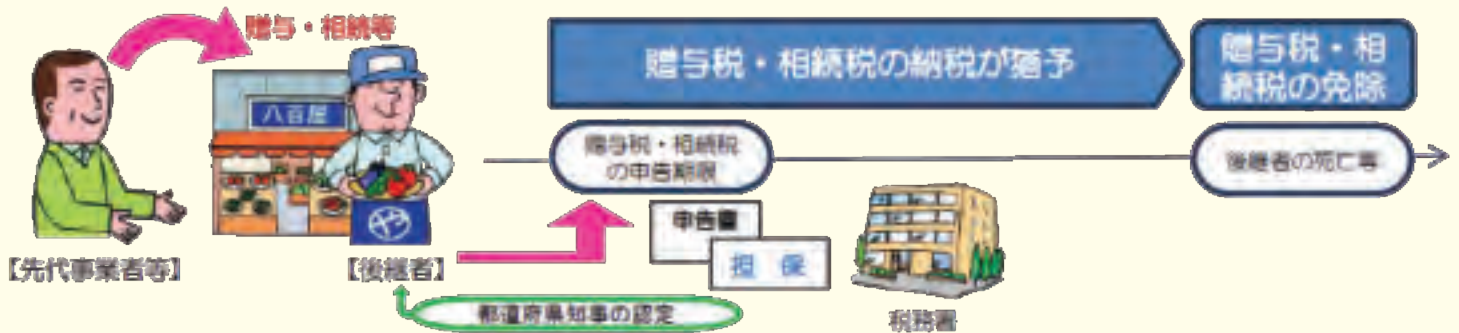
平成31年度税制改正により創設された個人版事業承継税制は、青色申告(正規の簿記の原則によるものに限る)に係る事業(不動産貸付業等を除く)を行っていた事業者の後継者^{※1}として円滑化法の認定を受けた者が、平成31年1月1日から令和10年12月31日まで^{※2}の贈与又は相続等により、特定事業用資産を取得した場合は、

- ①その青色申告に係る事業の継続等、一定の要件のもと、その特定事業用資産に係る贈与税・相続税の全額の納税が猶予され、
- ②後継者の死亡等、一定の事由により、納税が猶予されている贈与税・相続税の納税が免除されるものです。

※1 平成31年4月1日から令和6年3月31日までに「個人事業承継計画」を都道府県知事に提出し、確認を受けた者に限ります。

※2 先代事業者の生計一親族からの特定事業用資産の贈与・相続等については、上記の期間内で、先代事業者からの贈与・相続等の日から1年を経過する日までにされたものに限ります。

【個人版事業承継税制のイメージ図(国税庁パンフレットより)】



この制度の対象となる「特定事業用資産」とは、先代事業者(贈与者・被相続人)の事業の用に供されていた次の資産で、贈与または相続等の日の属する年の前年分の事業所得に係る青色申告書の貸借対照表に計上されていたものをいいます。

- ①宅地等(400m²まで)
- ②建物(床面積800m²まで)
- ③②以外の減価償却資産で次のもの
 - ・固定資産税の課税対象とされているもの
 - ・自動車税・軽自動車税の営業用の標準税率が適用されるもの
 - ・その他一定のもの(貨物運送用など一定の自動車、乳牛・果樹等の生物、特許権等の無形固定資産)

- (注) 1 先代事業者が、配偶者の所有する土地の上に建物を建て、事業を行っている場合における土地など、先代事業者と生計を一にする親族が所有する上記①から③までの資産も、特定事業用資産に該当します。
- 2 後継者が複数人の場合には、上記①及び②の面積は各後継者が取得した面積の合計で判定します。
- 3 先代事業者等からの相続等により取得した宅地等につき小規模宅地等の特例の適用を受ける者がいる場合には、一定の制限があります。

国税庁のパンフレットから内容の一部を抜粋し紹介しています。「個人版事業承継税制」については、「中小企業における経営の承継の円滑化に関する法律(円滑化法)」の認定、年齢等、贈与税または相続税の免除を受けるための様々な要件があります。詳細については、最寄の税務署等にご確認ください。

札幌黄たまねぎスープを 各支店・経済センターで販売中!

札幌伝統野菜「札幌黄」たまねぎを使った「札幌黄たまねぎスープ」の販売を各支店窓口・経済センターで始めました。

「札幌黄たまねぎスープ」は、札幌の農家で大切に育てられた札幌黄のうま味を存分に活かした、味わい豊かなコンソメ仕立ての粉末スープです。1箱4袋入りで360円(税込)で販売中!なお、6月から農産物の直売を開始している「とれたてっこ南生産者直売所」、「しのろとれたてっこ生産者直売所」、「東経済センター厚別店」でも取り扱っています。

お買い求めの際は、職員までお気軽にお声掛けください。



JAまつり・収穫祭を今年も開催!

毎年たくさんの方にご来場いただいている、JAまつり・収穫祭を今年も開催いたします。各会場では、趣向を凝らしたイベントを多数用意!皆さまのご来場をお待ちしています。

開催日程・イベント内容などの詳細は、決まり次第ホームページにてお知らせいたします。



8月4日(日)
厚別支店
特設会場
10:00~
14:00

8月31日(土)
清田区役所
市民交流広場会場
10:00~
13:00

8月31日(土)
手稲支店
特設会場
時間未定

9月21日(土)
上篠路倉庫
特設会場
10:00~
13:00

10月6日(日)
玉葱選果センター
(丘珠)会場
時間未定

※農産物の直売がメインとなります。

※農産物の直売がメインとなります。

1統括支店1協同活動 農作物の観察日記を公開中!

各支店の「1統括支店1協同活動」で育てている農作物の観察日記をホームページで公開しています。

広報誌では伝えきれない生育の様子を掲載していますので、是非ご覧ください。



JAさっぽろ

検索

<https://www.ja-sapporo.or.jp/>

携帯電話・スマートフォンからの
アクセスはこちら→



理事会だより

◆第2回定例理事会

令和元年5月30日(木)午後1時00分より本店役員会議室において第2回定例理事会が開催された。

●監事会報告事項

1、平成30年度決算監事監査報告

●協議事項

1、第21回通常総代会の提出議案について

第21回通常総代会の提出議案及び参考事項について説明され、可決決定。

2、第21回通常総代会の目的事項について

第21回通常総代会の目的事項(議事日程・決議事項・報告事項)が説明され、可決決定。

3、総代会参考書類に記載すべき事項、及び決算関係書類及び部門別損益計算書について

第21回通常総代会議案(総代会参考書類)記載の内容、決算関係書類(貸借対照表・損益計算書・注記表・附属明細書)、剰余金処分案、監査報告書、部門別損益計算書、第四次中期3カ年経営計画並びに令和元年度(平成31年度)事業計画の設定内容について説明され、可決決定。

4、議決権行使書面について

第21回通常総代会における議決権行使書面の様式、賛否の判定、提出期限等が説明され、可決決定。

5、代理人による議決権の行使について

第21回通常総代会における代理権標識の様式、配布方法等が説明され、可決決定。

6、令和元年度(平成31年度)の給与改定について

令和元年度(平成31年度)の平均定昇額及び昇給率等の改定案が説明され、可決決定。

7、令和元年度(平成31年度)正職員夏期手当の支給について

夏期手当の支給基準・支給人数・支給総額・支給日等が説明され、可決決定。

●報告事項

1、JA全国監査機構決算監査報告

2、平成30年度自己資本比率について

3、総合的なリスク量の報告について

4、「有価証券に係るリスクの量的管理」の報告について

5、平成30年度大口信用供与先経営状況報告

6、貸出金に係る信用集中リスク報告

7、平成30年分確定申告集計について

8、4月末財務状況報告

9、4月末組合員加入・脱退状況及び未済持分譲渡報告

10、5月の動静と6月の予定について

11、札幌協同振興(株)の平成30年度決算等報告

(閉会・午後3時20分)

JAさっぽろDATA

(令和元年5月末業務実績) (平成31年4月末業務実績)

組合員数	正組合員	3,720名	正組合員	3,727名
	准組合員	31,753名	准組合員	31,665名
	合計	35,473名	合計	35,392名
出資金残高	57億7千6百万円		57億3千4百万円	
販売取扱高	1億6千8百万円		1億3百万円	
購買供給高	2億2千5百万円		8千2百万円	
貯金残高	3,248億5千1百万円		3,257億3千6百万円	
融資残高	873億8千7百万円		872億8千6百万円	
共済保有高	5,980億8千3百万円		5,987億3千1百万円	
施設建設取扱高	0円		0円	
管理受託戸数	4,503戸		4,509戸	

参加者
募集!

2019年度 協同組合学公開講座 第3回講座に参加しませんか?



知っているようで意外と知らない協同組合や農協について、
理解を深めてみませんか? 北大の先生たちが分かりやすく解説します。

日時: 2019年8月17日(土) 13:00~15:30

会場: 北海道大学 構内

講師: 北海道大学大学院農学研究院 申 錬鐵 先生

講義テーマ: 「ミート: 日本の養豚の成長と農協の役割」

北大農学部で
行なわれる食と農の
イベント「北大マルシェ」も
散策します!

【参加資格】 JAさっぽろの組合員(ご家族含む)

【募集定員】 30名程度

【申込方法】 ハガキ・FAX・Eメールのいずれかの方法で、

①郵便番号、②住所、③氏名、④年齢、⑤電話番号をご記入の上、下記宛て先までご応募ください。

【宛て先】 〒060-0010 札幌市中央区北10条西24丁目1番10号 「JAさっぽろ 公開講座」係

FAX: (011)621-1449 Eメール: kk_keiei@ja-sapporo.or.jp

【締め切り】 2019年 **8月2日(金)** (定員になり次第、締め切らせていただきます。)

【お問合せ】 JAさっぽろ 経営企画室 経営企画課 TEL: (011)621-1980

※参加予定者には、JAより集合場所などの詳細についてご連絡いたします。

※講座風景を北大およびJAの広報誌やホームページなどに掲載させていただく場合があります。予めご了承の上、お申し込みください。

※参加申込で知り得た個人情報については、参加資格の確認およびご案内を発送する目的以外に利用いたしません。

共催: 北海道大学大学院農学研究院 農林中金寄附講座 協同組合のレーゾンデートル研究室

参加無料!!

前回の講座の様子...



▲正組合員・准組合員合わせて
41名にご参加いただきました。

6月8日(土)に開催した第1回講座では、「ファミリー: 協同組合における生産と消費のユニット」と題し、北大の坂下明彦教授による講義を実施。家族形態の変化や、共働き世帯の増加による食生活への影響など、農業と食を支える家族について、スーパーマーケットや直売所の動向を踏まえながら解説いただきました。

献血のお礼に「ポーラスター」

6月8日(土)・9日(日)、北海道赤十字血液センター・北海道大学医学部・JAさっぽろが連携し、北海道大学構内で行なわれた「北大祭」に献血ブースを設置しました。

今年で3年目となるこの取り組みでは、当JAから献血協力者へのお礼品に「ポーラスター」ほうれん草を提供。献血した人からも「去年このブースでもらったほうれん草が美味しくて、今年も食べてみたくなった」という声をいただくなど好評です。

北大医学部の学生が来場者に呼びかけ、2日間で169名の方にご協力いただきました。



▲ポーラスターを手に献血を呼びかける北大生。
ポーラスターが献血活動を後押し!

札幌・ポートランド姉妹都市提携60周年記念 「札幌食彩フェア」で札幌産食材を提供

6月1日からの1ヶ月間にわたり、ホテルオークラ札幌で札幌産の農畜産物及び札幌企業の加工品を用いたメニューを展開する「札幌食彩フェア」が開催されました。昨年に続き2回目の開催となる今年は、札幌市とポートランドの姉妹都市提携60周年を記念して、小松菜、ポーラスターほうれん草、古川ポークなど札幌産の食材と、北米ポートランドゆかりの食材、調理法を融合させたメニューが提供されました。

フェアに先行して5月29日(水)に行なわれたオープニング試食会には、食材を提供した関係企業の代表や秋元克広札幌市長が招かれ、当JAからは蟹田経済部長が出席。参加者は、シェフの手により見事に料理に活かされた地元の味に舌鼓を打ちながら、あらためて『札幌産』の魅力を語り合っていました。



中央支店で高校生が企業見学



5月29日(水)、下川商業高校の生徒4名が中央支店を訪れ、企業見学を行いました。

3年生の授業の一環として行なわれるこの取り組みは、生徒が興味のある業種を選択して各企業を訪問。中央支店では、昨年も受け入れを行なっています。

同校では、卒業後に就職を選択する生徒も多く、営業中の店舗の様子を見学しながら、職員の説明に熱心に耳を傾けていました。

日ハム公式戦観戦チケットを 北海道ファミリーホーム協議会へ寄贈

6月7日(金)、当JAから北海道ファミリーホーム協議会へ北海道日本ハムファイターズ札幌ドーム公式戦「北海道アンビシャスシリーズ」の観戦チケットを寄贈する贈呈式を行ないました。

JA共済では、毎年、地域貢献活動として消防署等に対する救急車の寄贈、交通安全教室の実施、交通安全ポスターコンクールの実施など様々な取り組みを行なっています。今回の寄贈は、プロ野球観戦を通じてファミリーホームの子ども達に楽しい時間を過ごしてほしいとの思いから実現したものです。

JA・JA共済では、これからも地域との絆を強化し、組合員・地域住民の皆さまが住みなれた地域で、健康で安心して暮らせる豊かな環境づくりに貢献してまいります。



▲藤田組合長から北海道ファミリーホーム協議会の長谷川寛治会長へ、観戦チケットの目録が手渡されました。

スタントマンが体を張って 自転車事故の怖さを伝える

J A 共済連北海道と北海道警察の主催で行う「スケアード・ストレイト教育技法による自転車交通安全教室」が、6月11日(火)に文京大学明清高校で、12日(水)に札幌国際情報高校で開催されました。

スケアード・ストレイト教育技法とは、交通事故を現実に近い状態で再現することにより、事故の危険性を疑似体験できる技法のこと。

通学や日常生活で自転車の利用頻度が高い高校生の皆さんに自転車による交通事故の危険性を理解してもらうため、スタントマンが自転車走行に伴う交通事故現場を再現しました。目の前で繰り広げられる臨場感溢れるスタントに、生徒達は交通事故の怖さを再確認していました。



▲文京大学明清高校で挨拶を述べる藤田組合長。

札幌伝統野菜 サッポロミドリの出前授業 平岡公園小・もみじの丘小で植え

東経済センターでは、札幌伝統野菜のエダマメ「サッポロミドリ」を小学生が育てる出前授業を、6月19日(水)に清田区の平岡公園小学校、20日(木)に厚別区のもみじの丘小学校で行いました。

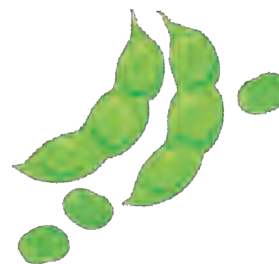
両校では、サッポロミドリの歴史や特徴などを学んだ後、全員で校内の畑に植え付け開始。種が配られると、児童は畑に指で穴を開けて種を落とし、やさしく土をかぶせました。

今回植えたサッポロミドリは、夏休み明けに収穫する予定で、児童は水やりをしながら、芽が出た日や花が咲いた日など成長の様子を観察していきます。体験した児童は、「教えてもらいながら種を植えて、とても楽しかった。たくさん収穫できたら嬉しい」と笑顔で話していました。

サッポロミドリは、雪印種苗(株)が開発を進め、1974年に種苗名称登録された、白毛の早生種。甘味があり、粒が大きくびっしりとなる見映えの良さが特徴で、現在、市内では、清田区と南区の13戸の生産者が栽培しています。



▲平岡公園小学校では、2年生120名が参加。



▲もみじの丘小学校では、3年生40名が種を植えました。



(平岡公園小学校)

★あなたの自慢、教えてください★

ジマンだい!



豊平地区

竹田 武さん

「八重桜」



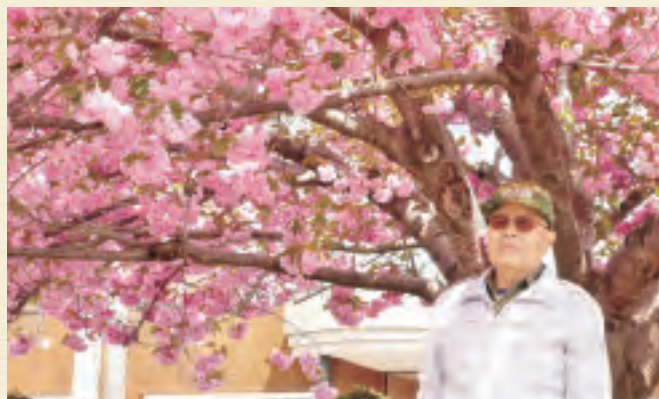
撮影:竹田武さん

5月中旬、豊平地区 竹田武さんのお宅の八重桜が見事に咲き誇っていました。竹田さんが20歳の時に植えたものとのことで、樹齢は65年以上!! 何本かあった木は次第に減り、現在残っているのはこの1本だけだそうです。

「通りすがりの人が足を止めて眺めたり、写真を撮っている姿をよく目にします。残念なのは、塀の外にある木だからか枝を折って持って帰ってしまう人がいること。持って帰っても花はすぐだめになると思うんだけどね。道路にまで枝が伸びると少し剪定しないとイケないし、いつまで見ごたえのある花が咲くかわからないけど、また春には楽しめるといいなと思います」



こんなに大きい!!



コーナータイトルは、きゅうりやトマトなどに一般的に殺菌剤で使われている「ジマンダイセン」をアレンジしたものです。



さとらんど

さとらんどにて、様々な講座を実施中!

7月25日(木)から
受付開始!

夏休み食育講座

手ごねで4枚の
ミニピザを作ります



- 日 時: 7月29日(月)・30日(火)、
8月8日(木)・9日(金) 10時30分~12時
- 場 所: さとらんどセンター
- 定 員: 各14組(1組3名まで) ※5歳以上の子どもと保護者が対象
- 参加費: 1組1,000円

夏休みクラフト講座

ラベンダー香るアロマ
ハーバリウムを作ります

- 日 時: 8月1日(木) 13時30分~15時
- 場 所: さとらんどセンター
- 定 員: 12組24名
※小学生以上の子どもと保護者が対象
- 参加費: 1組1,000円

※申込みは、さとらんどセンターまでTELまたは直接受付ください。

【お問い合わせ】サッポロさとらんど 〒007-0880 札幌市東区丘珠町584番地2 TEL(011)787-0223